

## 2014年1月 キューバ情勢

### I 概況

#### 1 内政

(1) サンティアゴ・デ・クーバにてキューバ革命55周年記念式典が行われ、ラウル・カストロ国家評議会議長が演説を行った。

(2) 家庭用調理器具購入のために銀行から融資を受けることが可能になった。

(3) 罰則等を規定した、自営業に関わる新たな規則が規定された。

(4) 制度変更により、キューバ人が結ぶことができる不動産賃貸契約の範囲が拡大された。

#### 2 外交

(1) 古屋内閣府特命担当大臣（防災）及び日本・キューバ友好議員連盟一行がキューバを訪問した。

(2) ハバナにて、米国との間で移民協議が行われた。

(3) 第2回CELAC首脳会議がハバナにて開催され、30か国の首脳及び国連事務総長等がオブザーバーとして出席した。

### II 内政

#### 1 キューバ革命55周年記念式典

1日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、サンティアゴ・デ・クーバで行われたキューバ革命55周年記念式典において、教育や医療等革命の成果を強調しつつ、全ての国民に対し、平等及び公正を実現するキューバの社会主義への貢献を求める演説を実施した。

2 1日の保健省発表によれば、2013年のキューバの乳幼児死亡率は1,000名当たり4.2人（暫定値）で、過去最低の数値を記録した。

3 8日、フィデル・カストロ前国家評議会議長がハバナ市内で行われた画廊の開会式に出席した。

4 14日、炊飯器、クッキングヒーター等の家庭用調理器具購入のために資金が必要な場合に、所定の審査を経て、銀行から資金の融資を受けることを可能にする制度が発表された（政令289号）。同措置は、2011年に始まった銀行による融資の対象を拡大するもので、利子は2.25%（3ヶ月）～7.75%（10年）。

5 罪状の重度に応じた罰金額等を規定した、自営業に係わる新たな規則が規定され、官報にその詳細が掲載された。

6 2008年の政令259号の施行から現在までに、158万ヘクタールの遊休地が譲渡された。

7 キューバに居住するキューバ人が、これまでは国営企業、外交団・外国企業及び外国人にしか許可されていなかった住居、事務所、商業施設及び倉庫の不動産賃貸契約を結ぶことができるよう制度変更された。

### III 外交

#### 1 古屋内閣府特命担当大臣（防災）のキューバ訪問

古屋内閣府特命担当大臣（防災）及び日本・キューバ友好議員連盟一行は、8日より11日まで（一部議員は別日程）当国を訪問し、フィデル・カストロ前国家評議会議長、ラウル・カストロ国家評議会議長、ラソ人民権力全国議会議長、ディアスカネル国家評議会第一副議長、カブリス閣僚評議会副議長、レアル・ハバナ歴史事務所長と会談を行った。また、古屋大臣は、防災担当大臣としてパルド全国防災参謀本部長との会談や防災関連施設の視察を行った。

#### 2 オランダ外相のキューバ訪問

5～7日、ティーママンス外相がキューバを訪問し、ロドリゲス外相と会談した。

#### 3 米国との移民協議

9日、ハバナにて、米国との間で移民協議が行われた。米側代表を務めたリー国務次官補代理代行は、今回の移民協議でいくつかの重要な進展があった旨述べたが、その詳細については言及しなかった。

#### 4 陳昌智・中国全人代常務委副委員長のキューバ訪問

17日及び18日、キューバを訪問した陳昌智（Chen Changzhi）中国全国人民代表大会常務委員会副委員長がラソ人民権力全国議会議長、ディアスカネル国家評議会第一副議長及びカブリス閣僚評議会副議長と会談したと報じられた。

#### 5 ブラジルへのキューバ人医師の派遣

28日の報道によれば、昨年8月に400人、10月に2000人、11月に3000人のキューバ人医師がブラジルに派遣され、2014年1～3月にさらに6000人の医師が派遣され、ブラジルで勤務するキューバ人医師は計11400人になる見込み。

#### 6 EUへのキューバとの交渉に関するマンデートの付与

29日、EU理事会のワーキンググループにて、キューバとの二国間協定の締結に向けた交渉を開始するマニフェストにつきEU加盟国が合意した、同合意は2月10日に開催されるEU外相理事会においても合意される見込みであると報じられた。

#### 7 ラテンアメリカ・カリブ諸国連合体（CELAC）第2回首脳会議

(1) 25日及び26日にCELAC国別調整官会議が、27日にCELAC外相会議が、そして28日及び29日に第2回CELAC首脳会議が開催された。同首脳会議では、「貧困・飢餓・格差との闘い」が主な議題として議論された。

(2) 30か国の首脳が出席した他、潘基文国連事務総長、インスルサ米州機構事務局長他がオブザーバーとして出席した。

(3) 「ハバナ宣言」及び2014年のCELAC行動計画が採択され、また、ラテンアメリカ・カリブ地域を「平和地帯」とする宣言文書が採択された。

(4) 本首脳会議の機会を捉え、会議に出席した各国首脳とキューバ側との間で、多くの首脳会議が行われた。

#### 8 要人来訪

- (1) 古屋圭司内閣府特命担当大臣（防災）（8～11日）
- (2) 西村明宏衆議院議員（8～11日）
- (3) 生方幸夫衆議院議員（8～12日）
- (4) 平井たくや衆議院議員（10～15日）
- (5) 陳昌智中国全国人民代表大会常務委員会副委員長
- (6) フェルナンデス亜大統領
- (7) スペンサー・アンティグア・バーブーダ首相
- (8) ムヒカ・ウルグアイ大統領
- (9) コレア・エクアドル大統領
- (10) ミランダ・エルサルバドル外相
- (11) ラモター・ガイアナ大統領
- (12) ペレス・モリーナ・グアテマラ大統領
- (13) ミッチェル・グレナダ首相
- (14) チンチャージャ・コスタリカ大統領
- (15) サントス・コロンビア大統領
- (16) シンプソン・ジャマイカ首相
- (17) ポータッセ・スリナム大統領
- (18) グラス・セントクリストファー・ネーヴィス首相
- (19) ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相
- (20) アンソニー・セントルシア首相

- (21) ピニェラ・チリ大統領
- (22) バチェレ・チリ次期大統領
- (23) メディーナ・ドミニカ共和国大統領
- (24) スケリット・ドミニカ国首相
- (25) パサード = ビセッサー・トリニダード・トバコ首相
- (26) オルテガ・ニカラグア大統領
- (27) マルテリー・ハイチ大統領
- (28) クリスティー・バハマ首相
- (29) カルテス・パラグアイ大統領
- (30) スチュアート・バルバドス首相
- (31) ルセーフ伯大統領
- (32) マドゥーロ・ベネズエラ大統領
- (33) ウマラ・ペルー大統領
- (34) モラレス・ボリビア大統領
- (35) ペニャ・ニエト墨大統領
- (36) フロリアル・ガリド・パナマ外務省対外政策局長
- (37) エルリントン・ベリーズ外相
- (38) ロベルト・オチョア・マドリード・ホンジュラス外務副大臣
- (40) 潘基文国連事務総長
- (41) ザヤーニ湾岸協力理事会事務局長
- (42) インスルサ米州機構事務局長
- (43) イグレシアス・イベロアメリカ事務局長